

瓦版

緑のまち活

第3号

緑のまち活での活動状況をお知らせしています

緑の取組み、視察に行ってきました！

他の自治体での緑の取組みを知るため、3月18日（土）に仙台市内に視察に行ってきました！参加者は緑のまち活に初めて参加の方を含めて11名とスタッフ3名です。

仙台市農業園芸センターと、仙台平野「みんなの居久根」プロジェクトを訪問しました。当日はお天気にも恵まれ、無事故で開催することができました。

● 当日の視察の行程 ●

- 8:30 女川町出発
- 10:00 仙台市農業園芸センター視察
- 11:45 昼食(6丁目農園)
- 13:10 仙台平野『みんなの居久根』プロジェクト視察
- 17:00 女川町内にて解散

仙台市農業園芸センター

センターの紹介を受けた後、主に野菜・ハーブづくりや土づくりやについて教えていただきました。

◇ 野菜・ハーブづくりに関すること ◇

- 酸度計がなくても、生えている雑草の種類で土の酸度（pH）が見分けることができる。
栽培する植物が好きな酸度で育ててあげると良い。
- ハーブの魅力を見出そう！（ハーブガーデンでは、約80種類のハーブを栽培中）
例）ジャーマン・カモミール：1株から1000個の花を咲かせる。
ローマン・カモミール：花は薬用として利用でき、芝生のようにもなる。
葉や茎は、花よりもリンゴの香りがする。
- ミントは地面に広がるが、主根以外の根を切っていくと良い。
- センター内で、コンパニオンプランツ（側に栽培し、互いに成長に良い影響を与え共栄しあう植物）で農薬のいらぬ畑作りに挑戦している。



◇ 土づくりに関すること ◇

- 園芸用土づくりの基本は、「赤玉土：腐葉土＝3：1」でつくる。
通気性、水はけ、補肥性を大切にする用土の作り方の基本。
- 今の時期は霜もおりるため、土の中は湿気っている。
「水をあげた方がいいかしら？」と思ってから2,3日後に水やりするくらいで良い。
- 寄せ植えをする際は、鉢に土を入れる前にポットごとのまま寄せ植えに使う植物を配置してみて、イメージすると良い。



◇ センター内散策の様子 ◇



センターでは、
苗木や花の即売会、梅まつり、
センター内のハウスで収穫された
トマトの試食販売会も開かれており、自
由時間にみなさん楽しんでいました。

仙台平野「みんなの居久根」プロジェクト

午後から南蒲地区を訪れ、南蒲生町内会みなみがもうの役員の方々、仙台市百年の杜推進課さん、南蒲生のまちづくりに携わるNPO法人都市デザインワークスさんに迎えていただきました。

◇ 南蒲生地区の復興まちづくり・緑の取り組み状況の紹介 ◇

- 居久根は、約400年前の仙台史にも記述があるほど歴史は古く、防風林や燃料とするなど地域の生活に根付いているものであったが、震災でその多くが流出した。
- 南蒲生地区は、震災後200世帯以上も現地で再建した。
- 「みんなの居久根」プロジェクトは、南蒲生の復興まちづくりの計画における重点方針「居久根の再生」の取り組みが発展したものだ。
- 居久根は個人所有のものだったが、居久根を大切に思うまちの人が居久根を見守り育てていける仕掛けを考えてきた。
- 話し合いの中で、「学校みたいなものがあるといいよね！」という声もあり、土づくりやまち歩き、ワークショップ（イグネスクールなど）を行ってきた。



◇ まち歩き ◇



① 住民のみなさんで移植した樹々



② 震災前と震災当時の状況を現地で確認



③ 「緑化助成制度(仙台市)」を利用して再生した生垣

◇ 意見交換 ◇

◇ 現地を見てみて、女川の地形と違うと感じた。平野部で海沿い、風も強く、居久根が必要な土地だと分かった。けれど、居久根を再生していくのは大変ではないか。

◇ 居久根を今まで知らなかったもので、「良ぐね？」の意味だと思った。良くないという意味になってしまうが、語感も良いしプロジェクトに有効なのではないか。

参加者のみなさんより



南蒲生のみなさんより

参加者、南蒲生地区のみなさんと 集会所前で集合写真



- 燃料として居久根を使ってきた昔とは現状が違うため、確かに300、400年も生きる居久根の必要性は薄い。
- 「津波で緑が失われてしまったこともあり、小さくなくとも花や樹をと植樹などの取り組みを始めた。植える際に子どもと一緒に植えたなど、そのような情景を思い出しながらみんなで花や樹を見守り育てられることは良い。
- あの時訪れた場はどうなった？と一緒に継続的に見てもらえたら嬉しい。

◆ 女川町まちづくり推進協議会事務局（役場復興推進課復興調整係）

TEL : 54-3131 内線 29 1

Mail : fukko7@town.onagawa.miyagi.jp

◆ まち活フェイスブック

まち活@おながわ

で検索